

学校運営協議会だより

令和6年度 第2号

令和6年11月29日（金）発行

令和6年度第2回桜山中学校・東岩槻小学校学校運営協議会を開催しました

11月18日（月）に桜山中学校を会場に今年度2回目となる学校運営協議会を開催いたしました。まず、両校の校長から今年度のこれまでの学校運営に係る取組の説明を行いました。

次に、第1回学校運営協議会の熟議にて実施が決定した「東岩槻地区“笑顔の架け橋”プロジェクト」の進捗状況について報告を行いました。報告では、同プロジェクトにおいて、「夏休み宿題教室」、「避難運営訓練」、「東岩槻フェスティバル」などのイベントに中学生ボランティアが積極的に関わることができており、引き続きプロジェクトを継続していくことを確認しました。その後、授業参観、熟議を行いました。

熟議に向けて...

熟議に向け、まず本地域における児童生徒数減少に対する児童生徒や保護者の意識調査の結果及び考察の報告を行いました。その後、さいたま市教育委員会から他自治体における小規模校の取組やその効果について説明を受けました。

これらを踏まえ、本地区の子どもたちにどのような力をつけることが、「基礎学力の向上」と「豊かなかかわりあいの充実」*の達成につながるのかについて、4つのグループに分かれ熟議を行いました。

*=本協議会で設定した小・中学校の 共通の目標



| 本地区の子どもたちに付けたい力 | |
|--------------------------------|------------|
| ～【基礎学力の向上】と【豊かなかかわりあいの充実】に向けて～ | |
| 基本的な知識や技能 | ●●●●●●●●●● |
| 主体的に判断する力 | ●●●●●●●●●● |
| 他者と協働する力 | ●●●●●●●●●● |
| 他者に共感する力 | ●●●●●●●●●● |
| 人間ならではの感性 | ●●●●●●●●●● |
| 創造性 | ●●●●●●●●●● |
| 暮らしを営む力 | ●●●●●●●●●● |



【熟議のテーマ】

本地区の子どもたちにどのような力をつけることが、「基礎学力の向上」と「豊かなかかわりあいの充実」につながるだろうか

- ①学習の質の向上
 - ◎中学生は、多くの人の考え方を知ったり、切磋琢磨したりする環境が必要なことから、中学校の規模を大きくする方策を考える必要があるのではないか
 - ・教員の資質向上（できる喜び・知る喜びを感じさせる、）
 - ・児童生徒の学習意欲（小で基礎基本、中で得意をのばす）
 - ◎多様な価値観に触れる機会
 - ◎地域交流、学校間交流、教員配置の工夫が必要ではないか
 - ・世代間交流（小・中、高齢者）
 - ・地域活動への参加（ボランティア活動、地域企業との連携）
 - ・多様性を学ぶ学習（地域の人による講演、昔語り、地域語り）
 - ◎活気ある学校行事等の経験
 - ◎少人数のメリットを十分に生かしつつ、地域や近隣校との連携があると活気が出るのではないか
 - ・異学年交流の種目・役割
 - ・充実感を得る（一人一役、多くの種目に参加）
 - ・内容充実（少人数ならではの内容（種目）の開発）
 - ・地域連携（保護者や地域が参加できる学校行事）
 - ・学校間連携（近隣校との合同開催）
 - ・主体性の育成（生徒による企画）
- ④部活動
 - ◎拠点校部活の制度や、地域特性を生かした部活動の新設
 - ・やりたい部活のある学校が選択できるようになるとよい
 - ・少人数でできる部活動を増やす
 - ・外部人材を活用した部活動の新設
 - ・部活が存在しなければ、合同チームも組めない
 - ・部活動数を増やすためには、教員の人数が必要
 - ・地域や保護者に、現状や現状における課題を発信する必要性

